第8期諏訪湖水質保全計画事業の実施状況（令和7年度末現在）

項目		実施主体	第8期計画事業【R4(2022年度)～R8(2026年度)】			R4～R8実績累計又は現況		
			計画に定められた取組、方策の内容	現状【R3(2021)年度末】	目標【R8(2026)年度末】		R6(2024年度)	R7(2025年度)
1. 水質の保全に資する事業								
水質目標値			COD(75%値)	5.5mg/L	4.7mg/L	7.6mg/L	4.8mg/L	7.6mg/L
			COD(年平均値)	3.9mg/L	4.0mg/L	5.2mg/L	4.4mg/L	5.2mg/L
			全窒素(年平均値)	0.62mg/L	0.62mg/L	0.57mg/L	0.67mg/L	0.57mg/L
			全りん(年平均値)	0.041mg/L	現状水準の維持	0.036mg/L	0.041mg/L	0.036mg/L
透明度の目標値			透明度(年平均値)	1.2m	1.3m以上	1.5m	1.3m	1.5m
(1)生活排水対策の推進	下水道整備(管理)	県	処理場の改築更新 湖周幹線マンホール更生			処理場の改築更新 幹線管渠の改築更新	処理場の改築更新 幹線管渠の改築更新	処理場の改築更新 幹線管渠の改築更新
	諏訪湖流域内における行政人口(常住人口)	岡谷市	行政人口(人)			35,657	36,121	35,657
		諏訪市				46,643	47,150	46,643
		茅野市				53,500	53,849	53,500
		立科町				167	160	167
		下諏訪町				17,974	18,275	17,974
		富士見町				2,439	2,490	2,439
		原村				8,007	8,053	8,007
		合計		169.9千人	165.5千人	164,387	166,098	164,387
	下水道整備	岡谷市	下水道接続事業 (接続人口:人)			35,047	35,503	35,047
		諏訪市				46,159	46,666	46,159
		茅野市				51,552	52,336	51,552
		立科町				136	126	136
		下諏訪町				17,722	18,008	17,722
		富士見町				2,106	2,124	2,106
		原村				5,772	5,930	5,772
		合計		163.8千人	160.3千人	158,494	160,693	158,494
	下水道区域外における合併処理浄化槽の設置	岡谷市	合併処理浄化槽設置事業 (接続人口:人) 窒素、りん除去型の設置を推進			97	34	97
		諏訪市				386	386	386
		茅野市				1,605	1,995	1,605
		立科町				10	10	10
		下諏訪町				8	11	8
		富士見町				212	219	212
		原村				1,793	1,767	1,793
		合計		3.9千人	3.3千人	4,111	4,422	4,111
	快適生活率	上記人口より算定		98.7%	98.9%	98.9%	99.4%	98.9%
(2)廃棄物処理施設による処理	一般廃棄物の適正処理、排出抑制、再利用等	市町村、一部事務組合、関係団体	一般廃棄物等の適正処理、排出抑制、再利用等に係る取組				—	—
	し尿処理施設	一部事務組合	既存施設による適正処理				—	—
(3)湖沼の対策	①ア　水草の除去	県	水草刈取船によるヒシの刈取(トン)	－	年510トン以上	達成中	732トン	735トン
		県	官民連携で進めるための新たな仕組みづくりの検討				諏訪湖の水草対策ワーキンググループにおいて、ヒシ刈取の優先場所等の検討	諏訪湖の水草対策WGにおいて、ヒシ管理に係るゾーニングを検討
		県	刈取方法、刈取時期のヒシの効果的な繁茂抑制方法の検討				令和5年度検証事業のフォローアップ調査	—
		諏訪湖創生ビジョン推進会議、県	水草刈取船の入れない浅瀬や流入河川に繁茂したヒシの手作業による抜き取り(トン)			累計25トン	8.5トン	3.5トン
		周辺市町、関係団体				累計135.89トン	4.85トン(岡谷市など)	125.28トン (岡谷市、諏訪湖クリーンプロジェクトなど)
	①イ　覆砂(浅場造成)	県	湖岸域の一部において覆砂を実施				Eゾーン(岡谷市)覆砂工 A=3,840m^2	Eゾーン(岡谷市)覆砂工 A=4,000m^2
		県	覆砂実施箇所におけるシジミの生息調査				シジミを含めた底生生物・魚類モニタリング調査 (6地点、年3回)	自然繁殖したシジミの生息調査 6地点(5月、8月、11月)
		県	水浴場等の利用を見据えた浅場造成				Eゾーン(岡谷市)覆砂工 A=3,840m^2	Eゾーン(岡谷市)覆砂工 A=4,000m^2
	②漂着ごみ等の除去	県、市町村、関係団体	漂着ごみ等の除去(トン)			累計1,502トン	376トン(諏訪市)	388トン(諏訪市)
(4)流入河川等の対策	①自然浄化機能を活かした水質浄化	県	多自然川づくり				—	砥川、新川、鴨池川において継続実施
	②沈殿ピットによる土砂除去	県	上川河口に設置した沈殿ピットに沈殿した土砂の回収			累計13,900m^3	堆積土除去工　V=3,600m^3	堆積土除去工　V=1,600m^3
	③植生水路の設置	県	上川、中門川にヨシの植生水路を設置(m)				設置完了	設置完了
	④枯れたヨシ等の諏訪湖への流入防止	県	・流入河川の支障木の除去 ・諏訪湖岸及び流入河川の清掃 ・河川区域の枯れたヨシ焼き ※河川に繁茂したヒシの除去については、【1の(3)の①ア】に記載			累計578トン	274トン	10トン
		岡谷市				延べ8,848.5m	792m(8河川)	299.5m(5河川)
		下諏訪町					流入河川清掃、草刈り、ごみ拾い等　随時	流入河川清掃、草刈り、ごみ拾い等　随時

項目		実施主体	第8期計画事業【R4(2022年度)～R8(2026年度)】			R4～R8実績累計又は現況		
			計画に定められた取組、方策の内容	現状【R3(2021)年度末】	目標【R8(2026)年度末】		R6(2024年度)	R7(2025年度)
2. 水質保全のための規制その他の措置								
(1)工場事業場排水対策	①排水規制	県	巡回指導(A)	延べ483件	延べ600件	延べ304件	74	83
			特定事業場数(B)			282	281	282
			立入検査率(A/B)(%)			29.4	26.3	29.4
			上乗せ排水規制事業者数			239	237	239
	②汚濁負荷量規制	県	湖沼法対象施設における規制基準の遵守の徹底			規制対象事業場83事業場	規制対象事業場　80事業場	規制対象事業場　83事業場
	③ア～ウ指導等	県	排水規制対象外の小規模事業者に対する排水処理施設の整備及び適切な維持管理の指導				公害苦情・水濁事故発生時における指導・助言	公害苦情・水濁事故発生時における指導・助言
			下水道への接続促進				水質汚濁防止法立入検査時における指導・助言	水質汚濁防止法及び浄化槽立入検査時における指導・助言
			廃棄物処理業者への立入検査、不法投棄防止パトロール			延べ254件	産廃処理業者立入件数　64件	産廃処理業者立入件数　88件
	③エ排水処理施設の整備促進を目的とした融資制度の紹介	県	中小企業振興資金(一般枠)の融資あっせん				―	中小企業振興資金融資を実施
		市町村	公害防止施設の新増設補助　等				―	製造業を営む中小企業者で公害防止施設の設置を必要とする方への融資あっせん(諏訪市)
(2)生活排水対策	①水環境に配慮した生活行動の推進	県、市町村	水環境保全に配慮した生活習慣について呼びかけ				―	家庭からの油流出阻止について市報による啓発(諏訪市)
	②下水道への接続促進	県、市町村	下水道供用区域における下水道への接続の推進				水洗便所等改造資金利子補給	水洗便所等改造資金融資利子補給、私設汚水ポンプ設備補助、排水設備共同管等設置事業補助
	③浄化槽の適正な設置、管理の確保	県、市町村	適正な管理を促すための指導及び啓発				指導及び啓発を実施	諏訪浄化槽衛生管理組合、県、各市町村合同で管内6市町村の浄化槽を立入実施 設置者研修会及び会報の配布により、啓発活動を実施
	下水道区域外における合併処理浄化槽の設置	県	立入検査件数(件)			延べ489件	120	120
		岡谷市				延べ15件	5	5
		諏訪市				延べ40件	10	10
		茅野市					0	0
		立科町				延べ4件	0	4
		下諏訪町					0	0
		富士見町					0	0
		原村				延べ20件	0	0
		合計	立入検査件数(A)	延べ806件	延べ600件	延べ568件	135	139
		県	浄化槽設置基数(B)			5,986	5,938	5,986
			立入検査率(A/B)(%)			2.3	2.3	2.3
(3)畜産業対策	①家畜排せつ物の適正管理、利用促進	県、市町村	家畜排せつ物の管理の適正化			延べ103戸	適正な管理を推進するため、延べ27戸に対し、巡回指導を実施	適正な管理を推進するため、延べ29戸に対し、巡回指導を実施
	②畜舎管理の適正化		・湖沼法指定施設における規制基準の遵守の徹底 ・規制対象外の施設に対する啓発				―	―
(4)魚類養殖対策	環境への負荷を考慮した養殖生産の促進等	県、諏訪湖漁協	湖沼法指定施設における規制基準の遵守の徹底				対象事業者なし	対象事業者なし
			内水面養殖管理指針に基づく指導				指導した	対象事業者なし
			規制対象外の施設に対する指導等			延べ3事業者	1事業者に指導した	対象事業者なし
(5)流出水対策	①市街地対策 ※数値目標: 計画策定時 (令和4年度) 照会時に提出された数値	国	道路路面の清掃(km)	－	延べ36km	延べ144km	36	36
		県		－	延べ315km	延べ80km	20	20
		岡谷市		－	－		0	0
		諏訪市		－	延べ210km	延べ20km	2	10
		茅野市		－	延べ1170km	延べ550km	41	41
		下諏訪町		－	－		随時(自治会活動等)	随時(自治会活動等)
		富士見町		－	延べ15km	延べ12.4km	3	3.4
		原村		－	延べ15km		随時(自治会活動)	随時(自治会活動)
		立科町		－	－		0	0
		合計		－	延べ1,761km	延べ806.4km	102	110.4
		県	道路側溝、水路の清掃(km)	－	延べ20km	延べ20km	5	5
		岡谷市		－	延べ38km	延べ36.68km	11.36	9.12
		諏訪市		－	延べ425km	延べ190km	82	36.3
		茅野市		－	延べ15km	延べ10km	2.8	1.2
		下諏訪町		－	－		随時(自治会活動等)	随時(自治会活動等)
		富士見町		－	延べ25km	延べ20km	5	5
		原村		－	延べ5km		随時(自治会活動等)	随時(自治会活動)
		立科町		－	－		0	0
		合計		－	延べ528km	延べ276.68km	106.16	56.62
		市町村	家庭ごみの不法投棄、観光客によるごみのポイ捨て防止のための啓発				不法投棄禁止看板の配布　22枚(諏訪市) ポイ捨て禁止のぼり旗配布　181枚(諏訪市)	不法投棄禁止看板の配布　42枚(諏訪市) ポイ捨て禁止のぼり旗配布　186枚(諏訪市)
	②農地対策	関係団体、事業者、県、市町村	環境にやさしい農業への取組拡大(土壌診断に基づく過剰施肥の防止、局所施肥技術の普及拡大、減肥栽培技術の導入など)				輪作や緑肥を活用した化学合成農薬のみに頼らない栽培を支援　184ha	緑肥活用減肥実証ほ場1か所設置、研修会開催2回
			「信州の環境にやさしい農産物認証」への取組支援、「みどりの食料システム法」に基づく農業者の認定や意識啓発				環境にやさしい農産物認証の取り組み支援　18件	環境にやさしい農産物認証の取り組み支援 23件
		県	多面的機能支払事業、中山間地域農業直接支払事業などの活用				・多面的機能支払事業 ・中山間地域農業直接支払事業による農地等の保全活動 5市町村　51集落 ・環境保全型農業支払交付金 5団体　13.0ha	・多面的機能支払事業 ・中山間地域農業支払い事業の交付事業(5市町村)
		岡谷市、諏訪市					・多面的機能支払事業 ・中山間地域農業直接支払事業	・多面的機能支払事業 ・中山間地域農業直接支払事業
		関係団体、事業者、県、市町村	「環境農業」に係る情報発信による生産された農作物の優先的選択と流通の促進				農産物直売所や農産物関連イベントを巡るスタンプラリー実施	農産物直売所マップ作成により環境に配慮した農産物を周知
	③自然地域対策	県	森林整備(間伐、植栽)(ha)	－	延べ1,800ha	延べ526.68ha	169(補助事業込)	1.68
		森林組合、市町村				延べ215.62ha	20.14	43.68
		県	治山施設の建設(箇所)	－	15	延べ44箇所	6	8
		県	砂防施設の建設(渓流)	－	14	延べ10渓流	2渓流整備	4渓流整備
		県、市町村	ゴルフ場、スキー場の汚濁負荷流出防止指導				―	―
(6)緑地その他湖辺自然環境の保護	関係諸制度の的確な運用	県	・環境影響評価法等の適正な運用 ・県事業等における環境配慮制度の適切な運用				道路の建設に係る公共事業環境配慮書の公表	ほ場の整備に係る公共事業環境配慮書の公表
		市町村	緑地その他湖辺の自然環境の保全・整備に係る制度の適切な運用				―	―

項目		実施主体	第8期計画事業【R4(2022年度)～R8(2026年度)】			R4～R8実績累計又は現況		
			計画に定められた取組、方策の内容	現状【R3(2021)年度末】	目標【R8(2026)年度末】		R6(2024年度)	R7(2025年度)
3. その他水質保全のために必要な措置								
(1)公共用水域の水質監視	①水質の測定	県	常時監視測定				諏訪湖水質監視　3地点　毎月1回	諏訪湖水質監視　3地点　毎月1回
							1河川1地点　毎月1回	1河川1地点　毎月1回
			上流域水質監視				上流河川水質監視　2地点　2河川	上流河川水質監視　2地点　2河川
		県	溶存酸素の連続測定				諏訪湖内に連続測定器を設置し、溶存酸素を測定(8地点)(3.(2)①、3.(2)④、3.(4)②と同じ)	・溶存酸素：湖内連続測定8地点(7月～12月)
		県	植物プランクトン調査				湖心(表層、中層(7月より)、底層)において、月1回、植物プランクトンを調査	湖心(表層・下層)において、月に1回植物プランクトンを調査(成層期は中層も実施)
		県	動物プランクトン調査				湖心(月1回)	湖心(月1回)
		岡谷市	市内河川水質調査				市内4河川にて実施	市内4河川にて実施
		諏訪市	市内河川水質調査				11地点、7河川	11地点、7河川
		茅野市	市内河川水質調査				19地点	19地点
		下諏訪町	町内河川水質調査				6河川9地点　地下水5地点	6河川9地点　地下水5地点
		富士見町	町内河川水質調査				2河川等の6地点	3河川等の6地点
		原村	村内河川水質調査				11地点、5河川5箇所	11地点、5河川5箇所
(2)貧酸素対策の推進	①底層溶存酸素量の環境基準の類型当てはめ	県	・類型当てはめの実施 ・底層溶存酸素量の測定地点の検討				諏訪湖内に連続測定器を設置し、溶存酸素を測定(8地点)(3.(1)、3.(2)④、3.(4)②と同じ) 今後、環境基準点等の検討を実施	溶存酸素：湖内連続測定8地点(7月～12月) 測定データをとりまとめを実施
	③ゾーニング等による対策場所の検討	県	ゾーニング等による貧酸素解消重点エリアの設定				―	―
	④貧酸素に関する調査・研究	県	地元大学との連携による溶存酸素測定				諏訪湖内に連続測定器を設置し、溶存酸素を測定(8地点)(3.(1)、3.(2)①、3.(4)②と同じ)	溶存酸素：湖内連続測定8地点(7月～12月)
			地元大学との連携による底質形状の調査				底泥酸素消費速度測定 湖内2地点（春期）	底泥酸素消費速度測定 湖内2地点（春期）
(3)生物豊かな湖岸域の復元・創出	①水生生物の管理	県	護岸整備等の事業効果検証(事後調査)				水生植物調査一式	水生植物調査一式
		県	湖沼法に基づく「湖辺環境保護地区」の指定に向けた検討				検討	検討
	②豊かな漁場環境の再生	県	水産生物の湖内での生息・産卵場所の整備・検討				諏訪湖創生ビジョン推進会議の活動として、漁業振興ワーキンググループを開催	―
			鳥類追い払いや外来魚駆除などによる豊かな漁場環境の再生				漁船による鳥類の追い払いを実施　85日 外来魚の駆除	漁船による鳥類の追い払いを実施　75日 外来魚の駆除
(4)調査研究等の推進	①諏訪湖環境研究センター(仮称)の設置の検討	県	「諏訪湖環境研究センター」(仮称)の設置				・令和6年4月 センター開所 ・「諏訪湖研究連絡会」の開催(2月27日) ・専用ウェブサイトの構築及び開設(3月31日) ・常設展示の県民向け公開(自由見学エリア243名、予約公開594名見学)	・最新の研究状況の共有や意見交換を行う場として「諏訪湖研究連絡会」を開催(2/17、75名) ・諏訪湖環境研究センターの施設公開を実施(10/5、111名参加) ・諏訪湖環境研究センター専用ウェブサイトによる積極的な情報発信(ホームページ閲覧数41,354回)
	②水質浄化及び生態系保全に資する調査研究の実施	県	諏訪湖の底質、貧酸素発生状況の把握及び貧酸素の改善手法に関する調査・研究				・諏訪湖内に連続測定器を設置し、溶存酸素を測定(8地点) (3.(1)、3.(2)①、3.(2)④と同じ) ・底泥酸素消費速度測定 湖内2地点（春期）	溶存酸素：湖内連続測定8地点(7月～12月) 底泥酸素消費速度測定 湖内2地点（春期）
		県	貧酸素水塊の挙動に関する調査・研究				諏訪湖内に連続測定器を設置し、溶存酸素を測定(8地点)(3.(1)、3.(2)①、3.(2)④と同じ)	湖内連続測定8地点(7月～12月)
		県	ヒシ除去場所及び覆砂場所における水質浄化効果と生態系に及ぼす影響に関する調査・研究				・覆砂場所と対照区における水質(4地点)及び底質(4地点)の状況を調査 ・水質調査一式 ・シジミを含めた底生生物・魚類モニタリング調査(6地点、年3回)	・水質4地点（3年に1回実施、令和7年度は実施なし) ・底質4地点（3年に1回実施、令和7年度は実施なし) ・覆砂場所における確認数が少ない大型のシジミの生息環境を調査(7月、6地点) ・水生植物調査一式 ・自然繁殖したシジミの生息調査：　6地点　(5月、8月、11月) ・底生生物・魚種別の個体数：　6地点　(6月、8月、10月)
		県	ヒシの繁茂状況、沈水植物の分布状況、水生植物の適正管理などの植生に関する調査・研究				・ヒシ等水生植物分布調査(7月31日,8月1日) ・ヒシ等水生植物分布調査(8月、年1回) ・ドローンや衛星画像を用いたヒシ分布状況把握に向けた手法開発 ・ロゼット薬除去による効率的なヒシ除去に向けた調査 ・水草帯の細菌やプランクトンに関する研究 ・ヒシの果実形態や遺伝構造に関する研究	・抽水植物帯の植物調査(年7回・8～10月) ・ヒシ帯の動物プランクトン調査(6月、9月) ・ドローンによる空撮(5～11月、月2回) ・人工衛星画像によるモニタリング手法の検討 ・ヒシ帯の細菌やプランクトンに関する調査(6月～10月) ・ヒシ及び水生植物の分布　全湖岸水域　(7～8月　年1回)
		県	水質関係データの解析、汚濁負荷物質の収支など汚濁負荷のメカニズムに関する調査・研究				毎月1回、湖内3地点及び釜口水門においてCOD、全窒素、全リン等を測定	・諏訪湖水質監視等　湖内環境基準点3地点及び釜口水門　月1回 ・水浴場水質検査　湖内環境基準点3地点　年2回(5月、8月)
		県	諏訪湖に流入する河川水量、地下水流入の状況など水の流れに関する調査・研究				主要河川に関する調査計画を策定	上川流域での汚濁負荷量調査に併せて流量調査を実施(年4回)
		県	流出水対策地区における汚濁負荷の低減に関する調査・研究				予備調査を実施し、上川及び宮川流域における流入汚濁負荷量調査計画を策定	上川流域17地点(年4回)
		県	諏訪湖の水質・底質と生物量の関係に関する調査・研究				・植物プランクトン動態の把握に向けて測定機器を整備 ・湖心(表層、中層(7月より)、底層)で月1回、植物プランクトンを調査(再掲) ・水温、光量子、クロロフィル等の鉛直プロファイルを湖心で月1回測定	・クロロフィル等の連続測定(湖心、7月～12月) ・植物プランクトン、動物プランクトン調査(湖心、月1回) ・水温、光量子、クロロフィル等の鉛直プロファイルを測定(湖心、月1回)
		県	多様な水生生物の生息環境を形成するための技術に関する調査・研究				・水質調査(7～10月:湖心と4地点で10回、他月:湖心を月1回) ・ワカサギふ化仔魚成長調査（4～6月、4回) ・ワカサギ資源量・成長調査(6～11月、月1回) ・シジミを含めた底生生物モニタリング調査（6地点、年3回) ・環境DNA分析手法の検討及び湖内6地点各2水深、沿岸10地点のサンプリングを年7回実施 ・絶滅危惧種メガネサナエのモニタリング	・魚群探知機による資源量調査 ワカサギ資源尾数推定　湖内全域　(6～11月月1回) ・稚魚ネットによるワカサギふ化仔魚調査 湖心、高浜　各1地点　(4～6月　9回) ・漁獲量等調査 湖内全域　(毎月) ・環境DNAの試料採取(4～2月、隔月)、魚類及び水生昆虫の生息種について網羅解析 ・絶滅危惧種メガネサナエの成虫調査(6月～9月、6回)、諏訪湖岸の羽化殻調査（6月～8月、13回) ・ヒシ刈取前後に魚類及び溶存酸素を調査(7、9、11月)
		県	マイクロプラスチックの存在実態把握に関する調査・研究				諏訪湖流入河川で主な土地利用が異なる4地点において予備調査	土地利用の異なる4地点で流出特性を把握するための調査を実施(年4回)
		県	有害化学物質の環境残留実態と生態系への影響に関する調査・研究				環境残留実態調査(分析方法・調査方法の検討、予備調査)	・ネオニコチノイド系農薬の調査(5～6月、8月、上川4地点・宮川6地点・諏訪湖心) ・環境省委託事業の初期・詳細・モニタリング調査(12月)
		県	水質・生態系への気候変動の影響と適応策に関する調査・研究				・湖内8地点で溶存酸素濃度、水温の連続測定を実施(再掲) ・月1回湖心において水温、DO、クロロフィル等の鉛直プロファイルを測定(再掲) ・湖心(表層、中層(7月より)、底層)において、月1回、植物プランクトンを調査(再掲)	・観測地点6箇所:湖面全域(日中2時間おきに画像を取得) ・溶存酸素濃度、水温の連続測定(湖内8地点、7月～12月) ・水温、DO、クロロフィル等の鉛直プロファイル測定(湖心、月1回) ・クロロフィル、光量子等の連続観測(湖心、7～12月) ・植物プランクトン、動物プランクトン調査(湖心、月1回)

項目		実施主体	第8期計画事業【R4(2022年度)～R8(2026年度)】			R4～R8実績累計又は現況		
			計画に定められた取組、方策の内容	現状【R3(2021)年度末】	目標【R8(2026)年度末】		R6(2024年度)	R7(2025年度)
(5)関係団体・市民団体における取組	関係団体による取組	諏訪湖創生ビジョン推進会議、県	・水草刈取船の入れない浅瀬の手作業によるヒシ除去 ・水草等の学習会の開催 ・稚エビの放流 ・アレチウリなどの外来植物の駆除 ・アダプトプログラム参加団体等との協働による支障木の除去、清掃・美化活動の推進				・ヒシ除去7月12日,13日,19日,20日 209名　8.5トン ・水草学習会、稚エビの放流　7月13日　76名 ・オオハンゴンソウ駆除　10名　290kg	・初島周辺(6/26,27,28)除去量3.5t (諏訪市) ・上川アレチウリ駆除作業(6/21) 参加者20人　駆除量60kg ・湖畔オオハンゴンソウ駆除作業(7/23) 参加者11人　駆除量130kg
	市民団体等による取組への支援	県、市町村	・アダプトプログラム参加団体等における美化活動の支援 ・市町村独自の支援				諏訪湖アダプトプログラム 活動団体数:66団体	諏訪湖アダプトプログラム 活動団体数:65団体
							下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会への活動支援	下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会への活動支援
(6)普及啓発及び学習活動の推進	①普及啓発	県	諏訪湖環境研究センターを中心に、諏訪湖を利用する人々の水質保全及び生態系保全意識の高揚を図る				・常設展示の一般公開エリアおよび予約制公開エリアの設置 ・各種団体主催の環境イベントへの出展(6件) ・依頼による研究員の講師派遣(8件)	・実際に諏訪湖に入り諏訪湖の水質や生態系を体感してもらう体験型環境講座「諏訪湖フィールド学習会」を開催(8/2、6組13名参加) ・諏訪湖環境研究センター常設展示スペースにおいて、水質及び生態系に関する情報展示と啓発を実施(717名) ・環境関連イベントに出展(5回) ・研究員等による講師派遣(13回)
			調査結果、研究成果等の情報提供				・調査結果等ホームページ公表 ・令和6年度諏訪湖創生ビジョン推進事業調査結果報告書の公表 ・諏訪湖通信の発行(毎月1回)	・毎月20日頃「諏訪湖通信」(82号～93号)発行、諏訪湖に関わる情報を紹介 ・推進会議資料をホームページにより公表
	②学習活動の推進	県	出前講座による学習会				出前講座を実施。 ・諏訪市内の小中学生等(6月8日) ・大学生等(7月29日)	申込みなし
		県、市町村、関係団体	「みんなの諏訪湖～諏訪湖読本」による環境学習				―	・小学校向け副読本「みんなの諏訪湖～諏訪湖読本～」の活用(継続) ・一般向け「諏訪湖読本(諏訪湖に学ぶ)」)の続編の企画、 「諏訪湖についてもっと知ろう」企画案作成
		市町村、関係団体	学校での諏訪湖に関する学習				・環境紙芝居読み聞かせ13保育園 ・すわ未来創造「子どもゆめプロジェクト」フィールドワーク ・南小環境学習(5学年)	(諏訪市) ・小中学校図書館での環境図書コーナー設置(6月～) 小学校6校、中学校4校で実施 ・市内保育園での環境紙芝居実施(6月～) 12園実施、参加園児619人 ・「すわ未来創造「子どもゆめプロジェクト」(諏訪市教育委員会)におけるフィールドワーク 6/28諏訪市教育委員会事業として実施 (下諏訪町) ・町内の小学生に対し、身近な環境について学ぶ環境学習を実施(南小6年2組6/12・7/13(クリーン祭での清掃)) ・地球温暖化について学べる「ゼロカーボン授業」を、町内2小学校の5年生へ実施(南小7/3,北小7/4) (岡谷市) ・ごみの行方や処理の工夫を学ぶため、諏訪湖周クリーンセンター(ecoポッポ)などの施設見学をする学習を4年生で実施 ・地域や将来の街づくりについて、SDGsの視点から自分たちにできることを考える活動を中学3年生等で実施
(7)関係計画との整合	―	県・流域市町村・事業者	諸計画との整合と本湖沼計画の推進				実施状況調査実施	実施状況調査実施
(8)計画の進捗管理	―	県	本湖沼計画の進捗管理				実施状況調査実施	実施状況調査実施
上川・宮川における流入水対策推進計画	調査研究	県	宮川流域内の流入汚濁負荷量の把握 土地利用状況に応じた効果的な対策の検討、推進				予備調査を実施し、上川及び宮川流域における流入汚濁負荷量調査計画を策定(再掲)	上川流域17地点(年4回)
	啓発活動	県、市町村	パンフレットやホームページによる広報や啓発				ホームページ等への掲載により情報提供	―